



明日があるさ通信

さくらが丘こどもセンター
放課後児童クラブ便り
令和 5年 1月 10日 No.10

1・2月の予定

- 1月17日(火) 入所説明会(新入所児対象)
- 2月4日(土) 冬バス旅行

さくらが丘こどもセンター職員の むかしばなし



さとう まりこ
佐藤 桐子

《〇〇年前のこどもセンター》

こどもセンターの支援員になり、干支を一回り以上しました。気がつけば、当時の小学生だったこどもたちは成人しています。

支援員になりたての頃、クラブ数は1クラブのみで約30人のこどもたちと日々を過ごしていました。当時の人数だったからできることだったと思いますが、春の遠足や秋の遠足、年2回のあすなろこどもセンターとのスポーツ交流会など、大変ながらも楽しい行事がたくさんありました。もともと保護者からの声で立ち上がったクラブだったので、保護者会主催の行事もあり、夏のお泊りキャンプや秋の文化祭、お別れ会等に保護者の方も参加して一緒に進めていました。中にはギターの弾き語りをしてくださったお父さんもいました。今はクラブ数が2クラブになり、人数も3倍以上に増えたことやコロナのこともあり、思うようなイベント行事も難しくなっていますが、その中だからこそ楽しめるあそびもあると思います。

これからも環境は日々様変わりしていくとは思いますが、その折々、臨機応変に対応していくことで、こどもたちの笑顔にもっとたくさん出会いたいです。

新しい職員の紹介



よでん れいや
依田 礼哉です!

1/5(木)より、毎週月・火・金曜日にたいようクラブに配属となっています。ラグビーをしていたそうです。

よろしくお願いします!

おしらせ・おねがい

- 1/6(金)にメールで施設評価アンケートのURL及びQRコードを送っています。今後の事業運営の改善に生かしたいため、ご協力をお願いします。
- 1/17(火)に来年度継続利用受け入れの方に申し込み書類を配布します。申し込まれる方は期限を必ず守り、こどもセンターまで提出してください。

あけましておめでとうございます。今年も元気な年にしましょう。よろしくお願いします!



「日新日日新」

新しい年が始まりました。今年はお卯(みずのとう)の年です。「卯(う)」つまりウサギは穏やかで温厚な性質であることから、家内安全の象徴とされています。また「癸(みずのと)」とは順序としては最後に当たり、一つの物事が収まり、次の段階へと移行していくとされています。今年が新しい成長へとつながる明るい年になることを願ってやみません。

私が、新しい年の初めに、いつも心に思う言葉があります。それは「日新日日新」(ひあらたなり ひびあらたなり)で、出典は中国の古典「大学」という書です。「今日という一日は天地開闢(てんちかいびやく)以来初めて訪れた一日である。それはどんな人にも皆平等にやってくる。その一日を有意義に暮らすために、その行いは昨日より今日、今日より明日は新しくなるのがよい」という意味です。

私たちは、日々の忙しさにともすれば流されそうになり、目の前のことに追われ、気がついたら一日が終わっていた、という日が多くなってしまいます。それでも1年の最初、1月には誰もが「今年こそ」と気持ちを新たにすることと思います。

私も日々の暮らしや仕事の中で、失敗もあり、まちがいはあり、後悔することもあり、とても自慢できる一日だったと胸を張っていえる日々ばかりではありません。でも、人間だからそれでもいいのではないのでしょうか。一日の始めに「今日を精いっぱい生きよう」と心に誓い、全力を傾けて日々を生きることができたら、それでいいのではないだろうか、とあるときから私は思うようになりました。

大切なのは、成果を上げることや結果だけにこだわるのではなく、自分がもうこれ以上はできなかつたと思えるくらい、一つ一つの仕事に心を込めて、そして愛を込めてやり遂げることができれば、昨日を悔やむこともないし、明日を思い煩うこともない、そう思えてくるのです。

特に子育てに関わっている間は、失敗やまちがいがだらけで悔やまないことはないような状態での毎日だと思います。そして社会人として仕事をする生活もまた、後悔や反省の方が多くことでしょう。それでも自分として、これだけ精いっぱいがんばったのだと、自信を持って言えることをしていたら、自分で自分をほめてあげてほしいと思います。なんたって、ここまで投げ出さずに仕事を続け、子育てを続け、日々を懸命に生きているではありませんか。それだけで奇跡といえる日々の積み重ねです。

きっとその生を終えたとき、神様が「よくやった」とほめて下さるでしょう。え、神様ではなくて閻魔大王だったらどうしよう?その時は素直に「ごめんなさい」です。

今年が皆様にとってよき年となりますよう、いつもお祈りしています。

さくらが丘こどもセンター 所長 杉井 康志

さくらが丘こどもセンターのHPには、下のHPアドレスまたはQRコードよりアクセスできます。

URL: <https://sakuragaokakodomo.okayamakodomokyoukai.jp>



放課後の

クリスマス

みんなで子どもセンターを飾って楽しい空間にしました！クリスマスを楽しみにしていた子どもたちです。



「そこに飾ろうかな」と楽しみながら飾っています。サンタさんに何をもらったかな。



2022年最後の月も元気に過ごしていました。2023年も楽しく過ごせる子どもセンターになるよう子どもたちと考えていきたいと思えます。

クリスマスを楽しみにしている子どもたちは、壁面製作をたくさん作ったり飾ったりしました。サンタさんに何のプレゼントを頼んだのか教えてくれる子もあり、わくわくして過ごしていました。戸外あそびでは、雪が降る日もありましたが、上着にくっつけたり、帽子で雪を集めたりして楽しみました。他にも、ドッチボールや鬼ごっこなど、「暑い！」というほど身体を動かして遊んでいましたよ。

子ども対職員の真剣勝負！負けて悔しかったのか次の日も勝負を挑んでいました。職員も本気で挑んでいます。



「ドッチボールしよう！」と下校の時に友だちと約束をしています。いつも本気で遊ぶ子どもたちです。



秘密基地を作っています。友だちと協力してステキな場所の完成です。



雪が降って子どもたちは大喜び！自分の帽子で雪を集めて「たくさんとれた！」と見せてくれました。



友だちといればどんなことも楽しい子どもたち。みんなで仲良くピース！



成長記録

戸外あそびでホッピングや鉄棒などを楽しむ子が多くいます。ホッピングでは、連続して跳べるようになるまで何度も何度も取り組んでいました。鉄棒では、小学校の体育の授業で逆上がりをしているようで、子どもセンターに来てからも自分で取り組んでいました。ホッピングも鉄棒もできるようになると友だちや支援員と「やった！」「できたね！」と喜びを共有しています。

“できるようになりたい！”という気持ちをこれからも大切にしていきたいです。

